

《担当者名》竹生礼子 [take-r@hoku-iryu-u.ac.jp]

【概要】

地域・在宅看護論の学びを礎に、地域に暮らす人々の健康、介入的アプローチの方法、地域住民と看護専門職者の相互作用、ヘルスプロモーション的な活動などをとりあげ、事象からみた理論の実証を試みる。近年の主要な国内外の研究論文のクリティークや、テーマを定めたフィールドワーク（その記録と分析を含む）、実践事例の記述や分析等を通して、行う予定である。

【学修目標】

- 1) 地域に暮らす人々の健康感、健康状態、保健行動をとらえるモデルについて理解する。
- 2) 地域・在宅看護学における個別・集団を対象とした健康支援のテーマを定めたフィールドワークを実践できる。
- 3) フィールドワークの記録と分析をテーマに沿って展開できる。
- 4) ヘルスプロモーション実践事例の記述と分析ができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 4	地域に暮らす人々の健康感、健康状態、保健行動をとらえるモデルの理解	地域に暮らす人々の健康感、健康状態、保健行動をとらえるモデルを基本的文献と研究論文から理解する。 (ヘルスプロモーション、ヘルスビリーフモデル、プリシード・プロシードモデル等)	竹生
5) 10	地域・在宅看護学における個別・集団を対象とした健康支援	地域・在宅看護学における個別・集団を対象とした健康支援についてテーマを定め先行の報告を踏まえつつ、フィールドワーク計画を立案する。	竹生
11) 15	テーマを定めたフィールドワーク	フィールドワークの記録を必要十分に行う。テーマに沿って展開し分析に有用な記録方法について検討する。	竹生
16) 20	フィールドワークの記録と分析の実際	フィールドワークの記録と分析をテーマに沿って展開させたいうで、教員のスーパーバイズを活用し、フィールドワークからテーマに関する解を見出し発展させる。	竹生
21) 25	ヘルスプロモーションの事例の記録・分析	実践事例から、集団、組織、地域を単位とした潜在・健在する健康課題を特定する。ヘルスプロモーションモデルを用いて、事例の記録・分析を行う。	竹生
26) 30	ヘルスプロモーション概念・理論と事例からの検証	ヘルスプロモーション概念・理論と事例からの分析をもとに、施策、資源との関連、先行研究との照合、課題解決の評価等から検証する。	竹生

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション(30%)、準備・参加状況(30%)、課題レポート(40%)を総合的に評価する。

【教科書】

Public Health Nursing誌、及び適宜紹介する文献

【参考書】

Public Health Nursing誌、及び適宜紹介する文献

【学修の準備】

- 1) 地域・在宅看護学に関するモデルを理解（検索，収集，読解）し，事前にポイントをまとめ資料を作成する。
- 2) 地域・在宅看護学における個別・集団を対象とした健康支援のテーマを定めたフィールドワークに関してポイントをまとめ資料を作成する。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという看護学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。